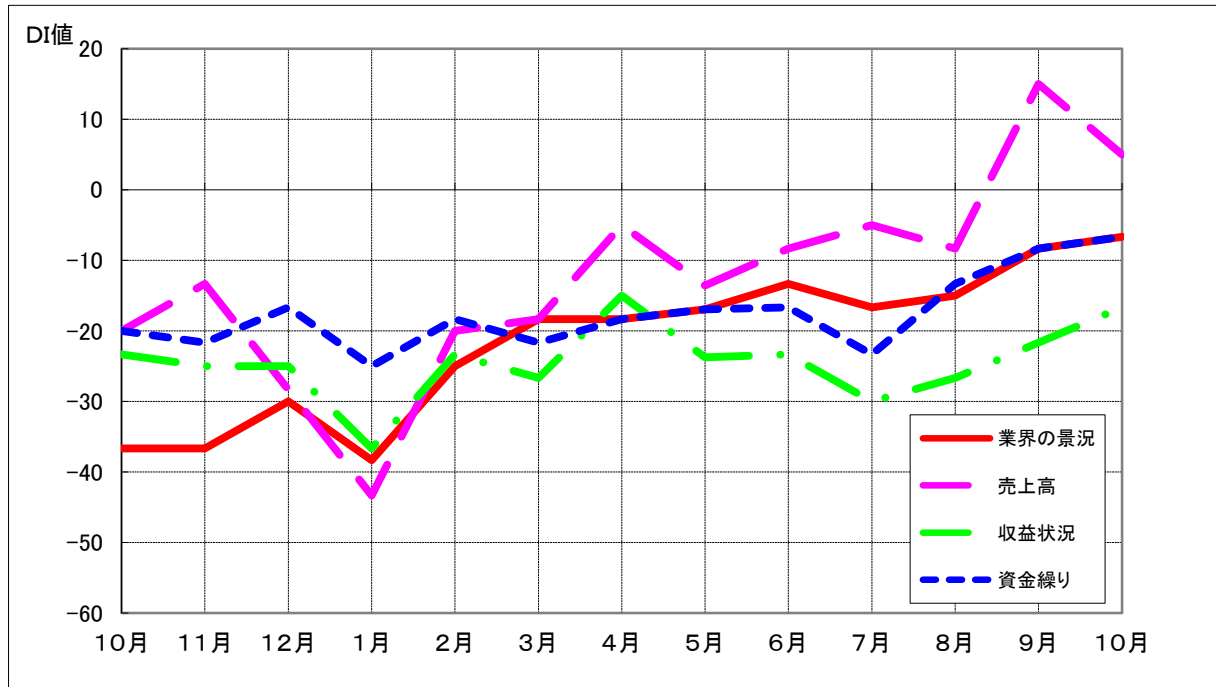


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成24年10月～平成25年10月

単位:ポイント



	H24			H25									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
業界の景況	-36.7	-36.7	-30.0	-38.3	-25.0	-18.3	-18.3	-16.9	-13.3	-16.7	-15.0	-8.3	-6.7
売上高	-20.0	-13.3	-28.3	-43.3	-20.0	-18.3	-5.0	-13.6	-8.3	-5.0	-8.3	15.0	5.0
収益状況	-23.3	-25.0	-25.0	-36.7	-23.3	-26.7	-15.0	-23.7	-23.3	-30.0	-26.7	-21.7	-16.7
資金繰り	-20.0	-21.7	-16.7	-25.0	-18.3	-21.7	-18.3	-16.9	-16.7	-23.3	-13.3	-8.3	-6.7

○10月のDI値は前月と比べ、1項目で悪化し、3項目で改善した。「売上高」DI値は10ポイント悪化した。前月同様プラスの値を保っている。「業界の景況」DI値と「資金繰り」DI値はともに1.6ポイント、「収益状況」DI値は5ポイント改善した。前年同月と比べると、全ての項目が改善した。「業界の景況」DI値は30ポイント、「売上高」DI値は25ポイント、「収益状況」DI値は6.6ポイント、「資金繰り」DI値は13.3ポイントそれぞれ改善した。売上高DI値が2ヶ月連続でプラスの値となっており、他の項目のDI値も改善していることから、景況は緩やかに回復傾向を示している。しかし、収益面は厳しい状況が続くとの報告もあり、先行きを注視する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、外衣製造業から、10月の売れ行きはやや良いとのこと、各工場は冬物の最終納期に追われているとの報告が、作業工具製造業からは、自動車関連が復調傾向にあり、国内向けの作業工具も比較的堅調に推移しているとの報告が出ている。非製造業では、木造建築工事業から、消費税引き上げ前の駆け込み需要で、若干ではあるが景況の好転が感じられるとの報告が、砂利採取業からは、公共工事の増加により、大型ダンプカー不足の状況が続いているとの報告が出ている。